

平成27年4月15日

平成27年度 東北森林管理局 主要取組事項



～東北森林管理局では地球温暖化防止のため、再生可能な間伐材製品利用を推進しています～



国民の森林・国有林

東北森林管理局 企画調整課

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>

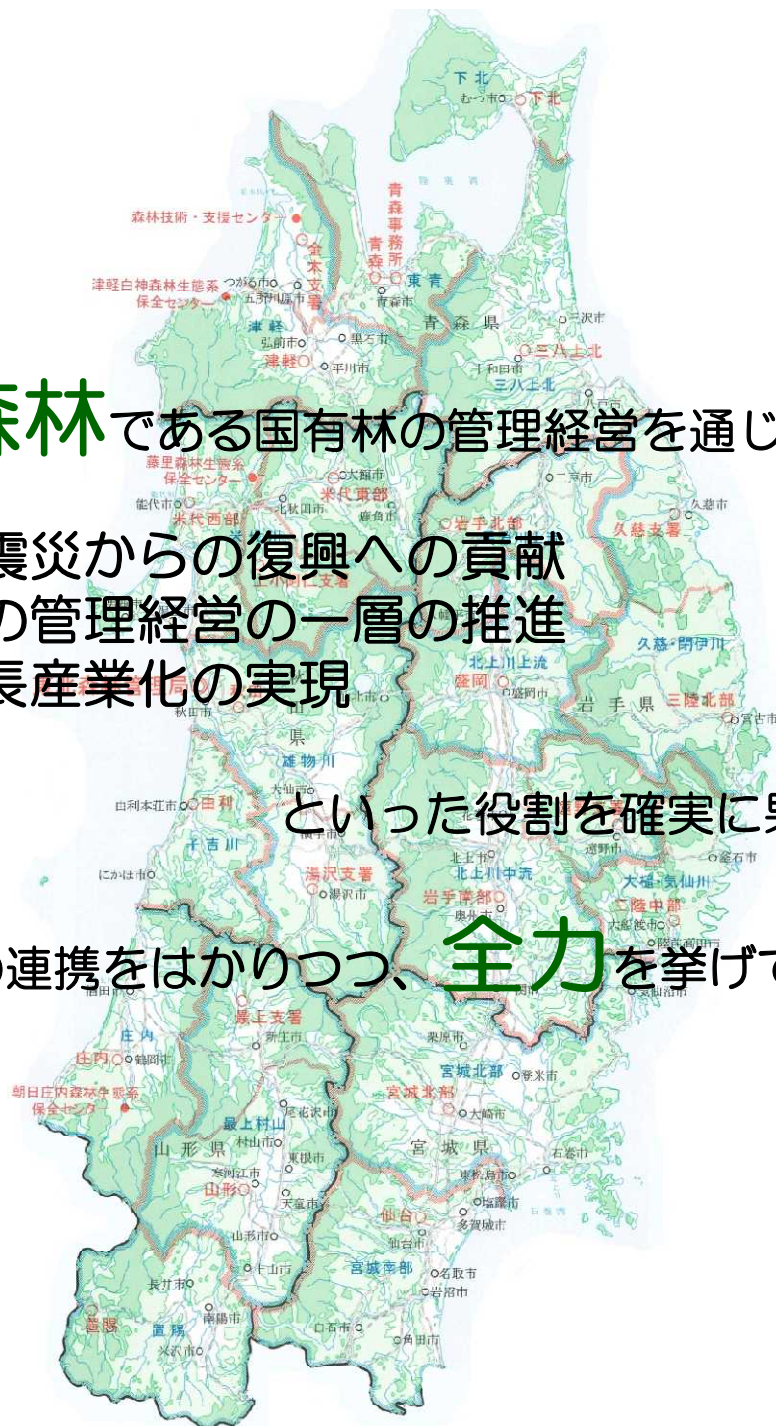
東北森林管理局は

国民のみなさまの森林である国有林の管理経営を通じて

- 東日本大震災からの復興への貢献
- 公益重視の管理経営の一層の推進
- 林業の成長産業化の実現

といった役割を確実に果たしていくよう、

関係者のみなさまとの連携をはかりつつ、**全力**を挙げて取り組んで参ります。



目次

1. 東日本大震災からの復興への貢献

- (1) 海岸防災林の再生 1
- (2) 復興ニーズに応じた木材の供給 2
- (3) 国有林野の活用による復興支援 2



2. 公益重視の管理経営の一層の推進

- (1) 森林吸収源対策の着実な実施 3
- (2) 公益的機能維持増進協定制度の活用 3
- (3) 生物多様性の保全 4
- (4) 地域の安全・安心を確保する治山対策の展開 5
- (5) 地域の要望や状況に応じた多様な森林の整備と活用 . . . 6
- (6) ニホンジカによる森林被害の防止 9
- (7) 森林病害虫による森林被害の防止 10
- (8) 森林・林業に関する普及啓発 11

3. 林業の成長産業化の実現

- (1) 地方創生に向けた市町村支援 12
- (2) 民有林関係者との連携強化 13
- (3) 木材の安定供給に向けた取組 14
- (4) 木材需要の拡大に向けた取組 16
- (5) 再造林の低コスト化に向けた取組 17



(1) 海岸防災林の再生

東日本大震災により被災した海岸防災林について、市町村策定の復興計画等を踏まえ早期復旧に取り組みます。生育基盤の造成と植栽におけるコンテナ苗の活用推進により、着実に海岸防災林の復旧を進めていきます。

海岸防災林の着実な復旧

〈海岸防災林復旧の主な手順〉

- ・樹木の根系の健全な成長の確保を図り津波に対して根返りしにくい林帯を形成するため、地下水位から2～3m以上の地盤高を確保する生育基盤盛土を造成
- ・防風柵を設置して植栽を実施し、海岸防災林を復旧



生育基盤盛土を造成



防風柵を設置し、苗木を植栽

〈植栽におけるコンテナ苗の活用〉

H26年度から活着に優れた抵抗性クロマツのコンテナ苗を本格導入しており、引き続き積極的な活用を図っていきます。



抵抗性クロマツのコンテナ苗

民間団体と連携した植栽の推進

植栽等の活動を希望する民間団体を公募し、協定を締結して、海岸防災林の再生に向けた植栽を進めていきます。

平成27年度植栽に向け、宮城県東松島市において新たに10団体と協定を締結し、活動を進めています。



「名取・潮除須賀松の森」植樹式
(平成26年5月、宮城県名取市)

生物多様性保全対策

海岸防災林の防災機能を確保しつつ生物多様性の保全を図るため、生育環境の保全や、希少な植生の移植等の対策に努めていきます。



現地における在来種の植生
(センダイハギ)

(2) 復興ニーズに応じた木材の供給

復興に向けて土木工事や住宅建築が本格化する中で、土木用・住宅資材の需要増大に対応した木材の供給を推進します。

また、災害公営住宅を建設する岩手県、宮城県の協議会等からの要望を踏まえて、国有林材の供給を実施します。



海岸林復旧工事への杭材供給
(三沢市・民有林)



木造災害公営住宅
のイメージ

(3) 国有林野の活用による復興支援

宮城県山元町へ国有林野をがれき置場として無償貸付し、災害復旧事業の作業ヤード等として利用できるよう措置しています。

また、宮城県石巻市からの要望に応え、高台への住宅移転用地として国有林野が活用されています。今後も自治体等からの要請に迅速に対応していきます。



がれき置場として貸付している
国有林野 (山元町)

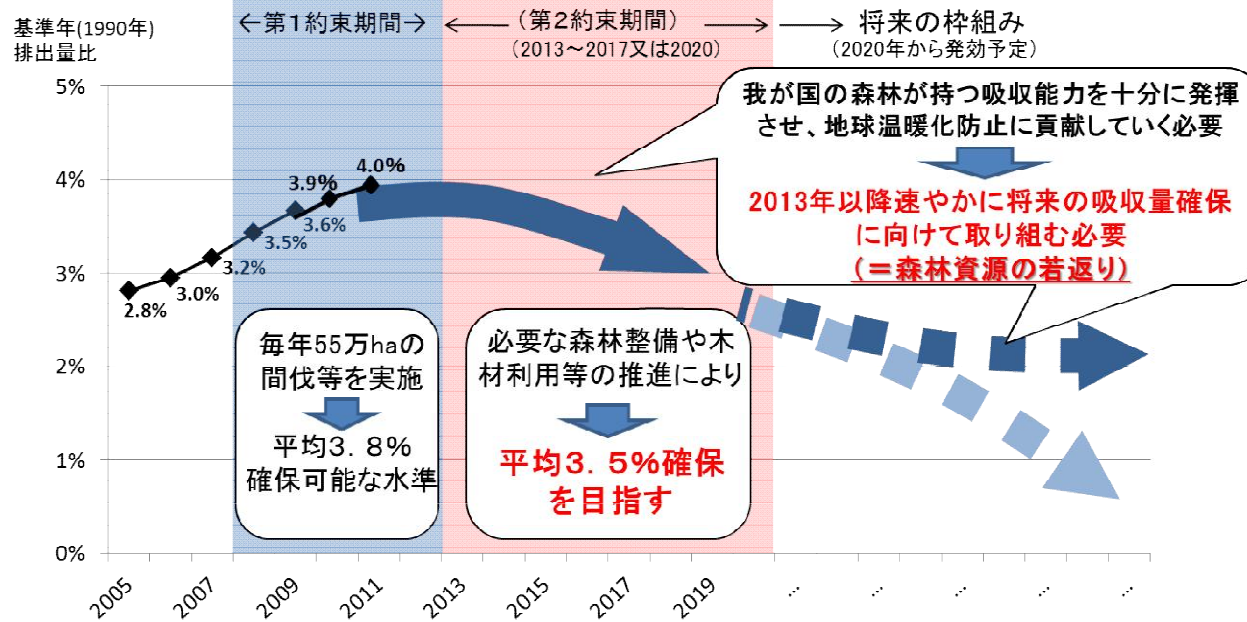


国有林内の高台移転予定地
(石巻市)

(1) 森林吸収源対策の着実な実施

森林による二酸化炭素吸収機能を発揮させるために、引き続き、間伐等を積極的に推進します。

また、将来にわたる二酸化炭素の吸収機能を十分に発揮していくために、現地の状況に応じた適切な主伐を推進することで、年齢構成の平準化にも取り組みます。



(2) 公益的機能維持増進協定制度の活用

小規模で孤立しているなど立地条件が不利なため、手入れの進まない民有林と一体的に森林整備を実施する公益的機能維持増進協定制度を活用し、国有林だけでなく民有林の公益的機能の維持増進を図ります。

事例：上小阿仁村における公益的機能維持増進協定



上小阿仁村内民有林の所有者との協定調印式（平成26年3月）



手入れが進まなかった林分において作業道等の作設や間伐を実行（平成26年9月）

(3) 生物多様性の保全

原生的な森林生態系や希少な野生生物が生育・生息する森林については、モニタリング調査等を通じて、適切な保護・保全を実施します。

白神山地世界遺産地域の保全管理

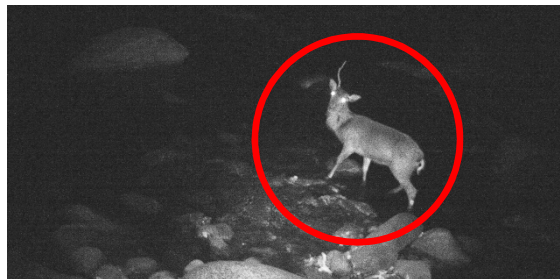
世界遺産地域への生息範囲拡大が懸念されるニホンジカのモニタリング体制を、環境省とも連携して強化します。さらに、白神山地世界遺産地域科学委員会等を通じて専門家の意見を伺いつつ、必要な対策について関係機関と連携して検討します。



白神山地科学委員会での検討の様子
(平成27年3月)



白神山地周辺に設置した
センサーカメラ



白神山地世界遺産地域周辺で
撮影されたニホンジカ
(平成26年10月)

生物多様性モニタリング調査

原生的な森林生態系及び希少な野生生物が生育・生息する保護林や緑の回廊におけるモニタリング調査等を通じて、保護林等の設定による効果を検証し、適切な保護・保全に役立てていきます。



調査プロット選定作業
(釜石市・橋野鉄鉱山郷土の森)

溪流生態系の保全

生物多様性の保全上重要な役割を担っている溪畔周辺について、本来生育する植生への誘導を図りながら上流から下流にわたる森林の連続性を確保できるよう整備・保全に取り組みます。

特にモデル的な溪畔林を「溪畔保全プロジェクト林」に設定し、施業に伴う効果を把握・検証しつつ、取組を推進します。



溪畔保全プロジェクト林 (秋田県)

(4) 地域の安全・安心を確保する治山対策の展開

地震や集中豪雨等で被災した荒廃山地の復旧、過密化した保安林の整備等、森林を再生させる治山対策を展開し、森林の保水、山崩れ防止機能を発揮させ地域の安全・安心を確保します。

山地災害への迅速な対応

山地災害の迅速な被害状況把握のため被害状況に応じてヘリによる民国合同緊急調査を行います。



ヘリコプターによる民国合同緊急調査
(平成25年8月秋田・岩手豪雨災害)

民有林における被害調査への協力、復旧に向けた工法等のアドバイスを行うため、治山や林道分野での技術を有する職員等を現地に派遣します。



全国から派遣された森林管理局等の
治山技術者による現地調査
(平成20年岩手・宮城内陸地震)

治山事業の実施

山崩れ等の山地災害を防止・軽減し、地域の安全・安心の向上に資するため、治山施設の設置と機能の低下した保安林の整備を実施します。その際、必要に応じて民有林とも連携した取組を推進します。

事例:「特定流域総合治山事業」(山形署)

山形県では、平成25年7月の集中豪雨により、大量の不安定土砂がダム湖に流出する山地災害が発生し、下流域への上水道の供給が一時停止するなどの多大な被害が発生しました。

このため、民有林と連携した特定流域総合治山事業により荒廃山地の早期復旧を図ります。



荒廃溪流源頭部と寒河江ダムの濁水
状況 (山形県)



山形県との合同調査の様子

(5) 地域の要望や状況に応じた多様な森林の整備と活用

様々な機会を通じて地域住民等からの要望等を把握し、その地域の状況に応じた多様な森林の整備や活用を図ることで、地域の課題解決や魅力向上に貢献していきます。

ヒバ林の復元に向けた取組

かつてヒバ林が成立していた地域において、スギ・カラマツ等の人工林からヒバ林への誘導に向けた取組を進めます。

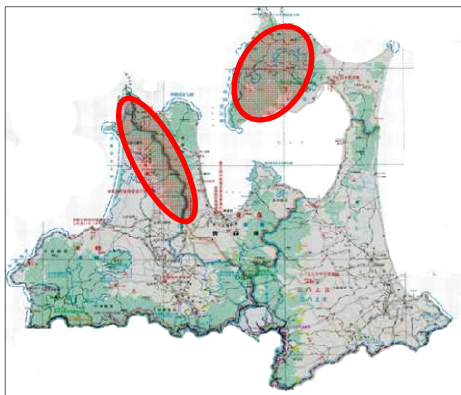
ヒバ林復元の方向

天然林

- ・保護すべきところは保護林として、人手を加えずに保護
- ・施業対象の林分については、中小径木の間伐を繰り返し、大径木の伐採が可能な林分へと誘導

人工林

- ・林内のヒバ稚幼樹の生育を促し、植栽と併せて徐々にヒバ林へ誘導



ヒバ林復元に向けた取組の実施対象エリア
(イメージ)

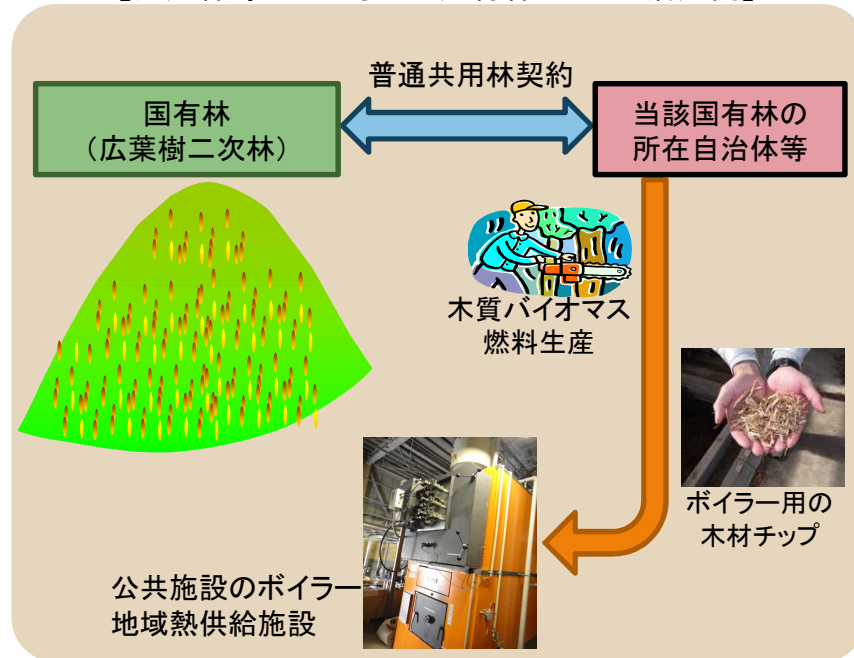


将来的に復元するヒバ林のイメージ

共用林野制度を活用した木材の安定供給

国有林野の管理経営に関する法律の改正を背景に、共同利用の為のエネルギー源として原木を採取できる普通共用林野契約を締結し、共用林野を活用した木質バイオマスエネルギーの利用促進を図ります。

【共用林野のバイオマス用材林としての活用例】



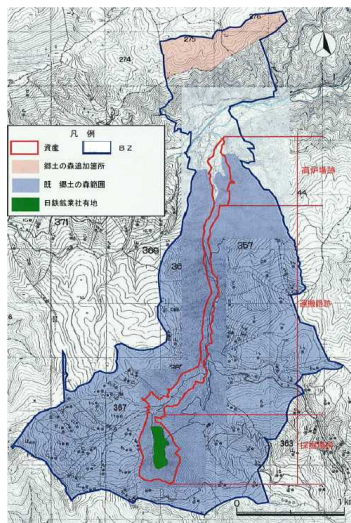
(5) 地域の要望や状況に応じた多様な森林の整備と活用

様々な機会を通じて地域住民等からの要望等を把握し、その地域の状況に応じた多様な森林の整備や活用を図ることで、地域の課題解決や魅力向上に貢献していきます。

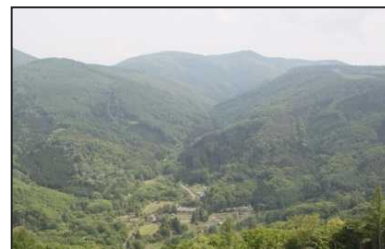
地域と連携した森林づくり

〈橋野鉄鉱山郷土の森〉

岩手県釜石市「橋野高炉跡」周辺の国有林を「橋野鉄鉱山郷土の森」として保護林に指定し、釜石市と連携しながら景観の保全等を優先した施業を行い、世界文化遺産への登録に向けた取組を推進していきます。



「橋野鉄鉱山郷土の森」の位置図（釜石市）



橋野鉄鉱山郷土の森（釜石市）



「橋野高炉跡」（釜石市）

〈風の松原〉

秋田県能代市「風の松原」において、「クロマツ林協働整備エリア」を設定し、市民と国有林の協働による整備・維持管理を目指します。



市民ボランティアによる保全作業（能代市）

花粉症対策苗の活用

花粉発生源対策についての社会的ニーズに適切に対応するため、可能な限り、少花粉スギや無花粉スギなどの花粉症対策苗を使用するよう努めます。



種子生産までの期間を短縮できるミニチュア採種園の例

(5) 地域の要望や状況に応じた多様な森林の整備と活用

様々な機会を通じて地域住民等からの要望等を把握し、その地域の状況に応じた多様な森林の整備や活用を図ることで、地域の課題解決や魅力向上に貢献していきます。

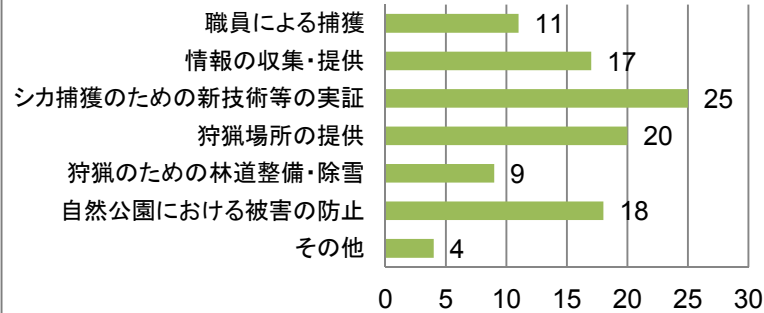
国有林モニター制度

国有林モニター制度の活用等を通じて意見交換を図り、国有林野の管理経営に役立てていきます。



国有林モニター現地見学会（秋田市・間伐作業現場）

ニホンジカ被害対策として国有林に何を期待しますか？



国有林モニターアンケートの実施例
（平成26年度 第2回アンケート結果より抜粋）

国有林野等所在市町村長有志協議会

国有林野が所在する市町村の長等と意見交換や要望の聞き取りを行い、施策に活用します。



岩手県での開催の様子（盛岡市）

森林計画策定に関する住民懇談会

森林計画策定にあたって住民の方から意見をいただく機会を設け、国有林の森林計画策定に活用していきます。



東青森林計画区住民懇談会（青森市）

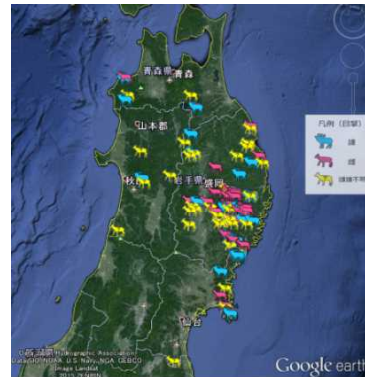
(6) ニホンジカによる森林被害の防止

東北地方におけるニホンジカの分布域が拡大しつつあることから、ニホンジカによる森林被害の防止に向け、広域的な分布情報の発信、被害防止対策の実証、個体数管理への協力等に総合的に取り組みます。

分布情報等の収集とホームページでの情報発信

広域的な組織力を活かし、県境を越えたニホンジカの分布状況や植生への影響についての情報収集を継続します。

収集した情報はホームページを通じて公開することにより、地域に広く情報提供するとともに、関係機関の情報と組み合わせた効率的な被害防止対策の検討に活用します。



ホームページ上での
生息情報の公開イメージ

造林地における被害防止対策の実証

ニホンジカによる造林木への被害防止対策について、効果やコストの実証に取り組み、地域や被害状況に応じた効率的な被害防止対策を検討します。



侵入防止柵

個体数管理に向けた取組

〈狩猟者支援〉

地域の協議会等を通じて関係者との連携を深め、必要に応じた冬季の林道除雪等により狩猟者を支援することで、ニホンジカの個体数管理に協力します。



地域協議会の様子（三陸中部署）



林道の除雪（遠野支署）

〈効率的な捕獲に向けた調査・実証〉

ニホンジカの新たな捕獲手法等についての調査・実証をモデル的に実施することで、効率的・効果的な捕獲のための技術開発に協力します。



簡易囲いワナの実証試験

(7) 森林病虫害による森林被害の防止

森林病虫害による被害への対策として、県・市町村等と情報を共有しながら、日常の森林保全巡視を行い、被害の発生状況についての監視に努めます。被害が確認された場合には関係機関と連携し、民有林と国有林が一体となった防止策を実施します。

松くい虫被害対策

県・地元自治体・ボランティア団体などと連携して、被害の早期発見・早期対策を基本とし、適切な防除事業を実施します。

被害量は年々減少しているものの、青森県の民有林における被害も確認され、被害地域が北上傾向にあります。海岸林地域・被害最先端地域の防除対策を引き続き重点的に実施します。



関係機関との情報共有
(三陸中部署)



海岸林における薬剤散布
(米代西部署)

ナラ枯れ被害対策

ナラ枯れ被害は青森県の民有林でも確認され、被害地域が拡大傾向にあります。

被害先端地域(岩手県、秋田県)では、重点的な監視を行い被害拡大の防止に努めます。

被害まん延地域(山形県)では、重点的に防除を行うナラ林を中心に駆除・予防を徹底します。



被害木の伐倒・根株のくん蒸処理(由利署)

(8) 森林・林業に関する普及啓発

市町村、教育機関、民間団体等のニーズをふまえ、国有林をフィールドとして提供するなど、森林環境教育、森林とのふれあい、森林づくり活動等を通じた森林・林業に関する普及啓発の取組を推進します。

森林環境教育の取組

地域の学校等における森林教室、体験林業等の取組について、関係者等と連携しながら推進します。



地域の工務店等と連携した森林教室の様子（青森県）



国民参加の森林づくり

協定締結による「ふれあいの森」、「遊々の森」、「木の文化を支える森」、「社会貢献の森」、「多様な活動の森」など、国民参加の森林づくりを推進します。

また企業等が社会貢献活動の一環として行う森林整備や林業体験活動などのフィールドとして「法人の森林」制度の活用を積極的に推進します。



「遊々の森」における中学生の作業体験（大船渡市）



「社会貢献の森」での植樹会（奥州市）

森林とのふれあいの推進

国有林のフィールドを活用し、一般公募した参加者を対象としたガイドツアー等を実施します。

世界自然遺産白神山地周辺では、外国人参加者向けに英語によるガイドも実施します。



平成26年10月に実施した英語ガイドツアーの様子

(1) 地方創生に向けた市町村支援

国有林の組織・技術力・資源を活かして市町村を支援し、地域の特色ある森林資源を活かした地方創生に協力します。

森林・林業コンシェルジュによる地方創生支援

「森林・林業コンシェルジュ」を市町村の要請に基づき派遣し、林業の成長産業化、地域の産業、雇用の創出に関する悩みに幅広くお答えする制度を開始します。

林業の成長産業化

- ・効率的かつ安定的な林業経営の育成
- ・低コストで効率的な作業システムの整備
- ・共同施業団地の設定
- ・人材の育成・確保

森林の有する多面的機能の発揮

- ・多様な森林への誘導と森林における生物多様性の保全
- ・保安林の適切な指定・管理の推進
- ・野生鳥獣の生息動向に応じた効果的な森林被害対策の推進



林業事業体の育成



新たな高性能林業機械の開発



木くず焚きボイラー、ペレットストーブなどの導入



民有林・国有林の共同施業団地

地域資源の有効活用

- ・木質バイオマスの利用
- ・里山林など山村固有の未利用資源の活用
- ・都市と山村の交流による山村への定住の促進



地域における合意形成

市町村森林整備計画の策定等支援

地域の森林・林業のマスタープランである市町村森林整備計画の策定や、実行段階での技術的支援を行います。



市町村森林整備計画策定に向けた意見交換会（秋田署）

研修等への市町村職員の受け入れ

森林管理局が行う研修や森林管理署等が行うOJTへ、市町村の林務担当職員等にご参加いただくことで、市町村職員の技術力向上に協力します。



局主催の研修の様子

(2) 民有林関係者との連携強化

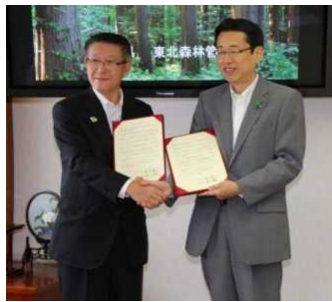
森林共同施業団地の設定や、現地検討会の開催、林業大学校等への支援・協力を通じて民有林関係者との連携を強化し、民有林の経営に対する支援を積極的に進めていきます。

林業大学校等への支援・協力

平成27年4月開講の秋田林業大学校について、講師派遣やフィールド提供等などの支援・協力を、県と調整しながら実施していきます。

また平成28年度に山形県立農業大学校に設置予定の林業関係学科についても、積極的に支援を検討していきます。

さらに、要望に応じて森林組合等に対しても、森林管理署職員による出前研修等の積極的な支援を実施します。



H26年9月、秋田林業大学校の支援等について覚書を締結。



森林管理署職員による釜石地方森林組合への出前研修（三陸中部署）

森林共同施業団地の設定を通じた施業集約化支援

民有林において課題となっている施業集約化の取組を支援するため、森林共同施業団地を設定し、民有林と直結した路網の整備や計画的な間伐、民有林材との協調出荷に取り組みます。

〔 現在18の協定を締結、17の森林共同施業団地を設定。 〕

事例：「易国間地域森林整備推進協定」(下北署)

平成27年1月、森林整備推進協定締結
今後、効率的な路網整備等に取り組む。

【協定面積】

国有林: 402.70ha
易国間財産区: 52.28ha
県民環境林: 11.80ha
民有林: 152.57ha



民有林のニーズを踏まえた現地検討会の開催

県、森林組合、流域森林・林業活性化センター等と連携して、現地検討会を全署で開催し、低コスト作業システムや森林作業道作設手法の民有林への普及を図ります。



森林作業道作設の検討会（三陸北部署）

(3) 木材の安定供給に向けた取組

安定供給システム販売や市場化テストによる複数年契約の推進に加え、新たに複数年分の立木販売を実施するなど、木材の安定供給に向けた取組を強化します。

木材供給可能量の増大

資源の成熟に伴い、主伐期を迎えた林分が増加したことから、現地の状況に応じた適切な主伐を計画し、木材供給可能量を増大させます。

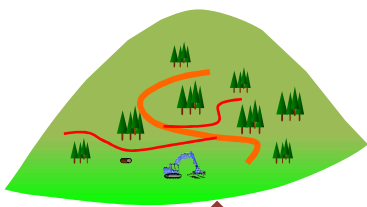
H26(当初計画) H27(当初計画)

素材生産量: 682 千 m³ → 690 千 m³ (丸太材積)

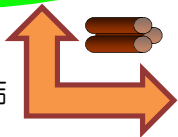
立木販売量: 679 千 m³ → 1,627 千 m³ (立木材積)

安定供給システム販売の推進

木材の安定的供給を図るため、製材工場や合板工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、毎年度工場等へ安定的に木材を供給する安定供給システム販売を引き続き推進します。



協定締結



製材工場等の需要者

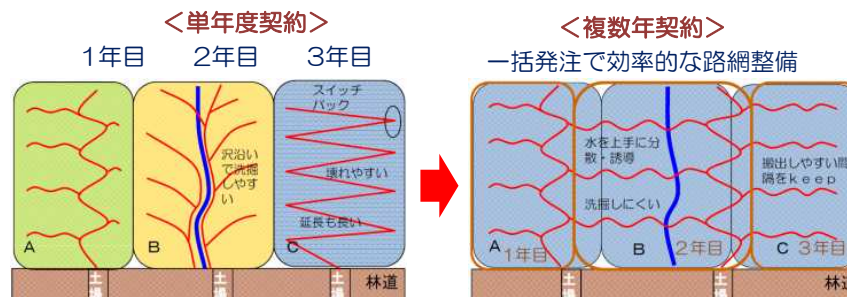
複数年契約の推進

〈立木のシステム販売〉

複数年分(2~3年)の立木販売箇所を集約して1契約とする立木のシステム販売を推進し、安定的な木材供給に取り組めます。

〈市場化テスト〉

大きなまとまりのある間伐事業を3カ年契約で一括発注する市場化テストを実施し、事業者の創意工夫を活かした効率的な森林整備をすすめます。



複数年契約による効率的な森林整備のイメージ

- 複数年契約による事業者のメリット
- ・複数年の事業確保による雇用・経営の安定化につながる
 - ・高性能林業機械等の設備投資を実施しやすくなる 等

(3) 木材の安定供給に向けた取組

木材の安定供給体制の構築に資するため、国有林材と民有林材の協調出荷や、伝統工芸品向け原木の持続的供給、林地残材等の供給に向けた取組を実施します。

国有林材と民有林材の協調出荷

森林共同施業団地を中心に、国有林と民有林が連携して木材の安定供給体制づくりを進めるとともに、民有林における未利用間伐材等の有効利用の促進等に資するため、木材の販売を連携して実施します。

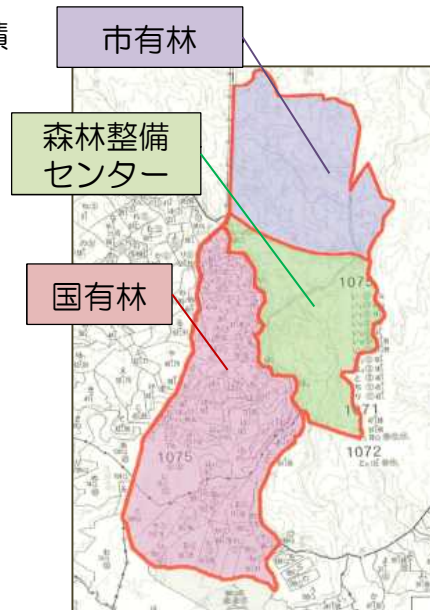
事例：由利本荘市 谷地沢地域（由利森林管理署）

平成26年度の協調出荷実績

国有林材 2,810m³
民有林材 1,596m³
(合計4,406m³)



集積された丸太（由利署）



伝統工芸品向け原木の持続的供給

秋田の伝統工芸品である「曲げわっぱ」について、秋田県立大学木材高度加工研究所による天然秋田スギに代わる高齢級人工林秋田スギの適木選定の取組に協力するなど、伝統工芸品向け原木の供給に努めます。



超長伐期スギ試験地
(米代西部署管内・添畑沢試験地)



伝統工芸品「曲げわっぱ」

林地残材等の供給に向けた取組

これまで搬出されなかった根元部材などの林地残材について、低コストでの搬出・利用について実証を行い、民間への普及を目指します。



トンバッグを用いた搬出実証
(米代東部署)

(4) 木材需要の拡大に向けた取組

従来、木材以外の材料が主に利用されていた用途への木材利用を推進することで木材需要の拡大に取り組みます。

公共建築物における木材利用の推進

木造庁舎等の整備を進めるとともに、市町村等に対して公共建築物の木造化に向けた情報提供を行います。



大断面集成材を使用した新庁舎の躯体
(三陸北部署新庁舎)



秋田駅西口バスターミナル
(秋田市)



住田町役場新庁舎 (住田町)

治山事業における木製パネル式残存型枠等の活用

治山事業の実施にあたって、木製パネル式残存型枠の活用に努めるなど、木材需要の拡大に貢献します。また、国産材を使用したコンクリート型枠用合板の活用に向け、引き続き取り組んでいきます。



木製残存型枠を使用した
治山事業 (青森署)



国産材を使用した合板型枠
試験施工の様子
(山形署管内)

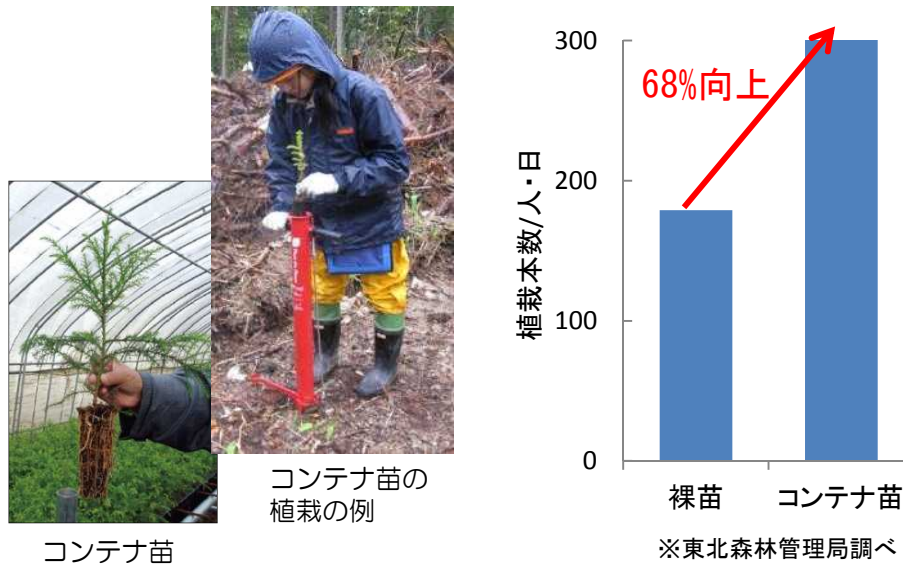
(5) 再造林の低コスト化に向けた取組

着実な再造林を図るために、コンテナ苗の活用、一貫作業システムの実証・普及による低コスト化に取り組みます。

植栽におけるコンテナ苗の活用推進

従来の「裸苗」と比べて植栽作業を大幅に効率化できる「コンテナ苗」の積極的な活用を進め、再造林の低コスト化技術の普及・定着を図ります。

【植栽作業効率の比較】

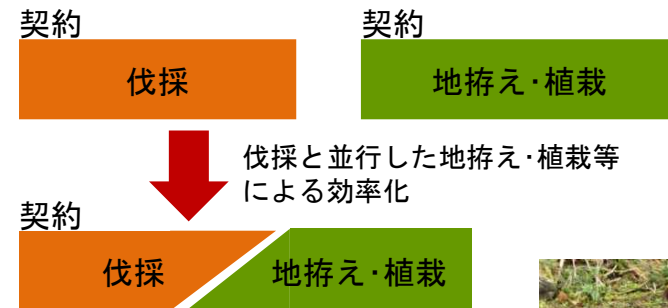


※コンテナ苗植栽面積
 H27 : 118 ha (20署・支署) (予定)
 (H26 : 38 ha (14署・支署))

一貫作業システムによる低コスト化の実証と普及

伐採とその後の地拵え・植栽を連続的に実施する「一貫作業システム」について、作業全体を効率化・低コスト化する手法を実証し、現地検討会を通じた林業事業者等の民有林関係者への普及に取り組みます。

一括発注による作業のイメージ



グラップルでの地拵え

※一貫作業実施箇所
 H27 : 5署・支署 / 20 ha (予定)
 (H26 : 1支署 / 4 ha)

平成27年度 主要事業量 (年度当初)

区 分	単 位		当初予定		前年度比 (%)	
			27年度	26年度		
収 穫 量	千m3	合 計	3,308	2,934	113	
		内訳	(主 伐)	1,701	1,183	144
		(間 伐)	1,608	1,751	92	
製 品 生 産	千m3	合 計	690	682	101	
		内訳	(青森ヒバ)	5	12	42
		(スギ)	365	384	95	
		(カラマツ)	67	54	124	
		(その他 N・L)	253	232	109	
更 新 量	ha	合 計	1,207	801	151	
		内訳	(新 植)	955	652	146
		(天然更新)	252	149	169	
造 林 (保 育)	ha	合 計	14,757	14,028	105	
		内訳	(直 よ う)	-	-	-
		(請 負)	14,757	14,028	105	
林道新設	km	合 計	47	72	65	
治山事業	百万円	合 計	34,598 (18,397)	34,831 (10,978)	99 (168)	

- (注)
- ① 年度当初予定には、前年度の繰越事業量を含む。
 - ② 更新量及び造林(保育)の事業量は、区域面積の数値である。
 - ③ 更新量欄の天然更新の事業量は、天然更新を促すための地ごしらえ作業量。
 - ④ 造林(保育)の事業量は、保育間伐と本数調整伐の事業量。
 - ⑤ 治山事業は工事費、()は民有林直轄治山事業の工事費で内書の数値である。
 - ⑥ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

(参考) 主な事業量 (県別)

区 分		平成27年度当初予定						平成26年度当初予定						前年度比 (%)					
		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	計	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	計	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	計
収穫量	主伐 (千m3)	556	333	74	464	273	1,701	430	213	74	315	152	1,183	129%	156%	100%	147%	180%	144%
	間伐 (千m3)	447	463	134	443	120	1,608	522	459	149	430	191	1,751	86%	101%	90%	103%	63%	92%
	計	1,004	795	209	907	393	3,308	952	671	222	745	343	2,934	105%	118%	94%	122%	115%	113%
製品販売 (千m3)		197	151	45	208	90	690	208	141	44	206	84	682	95%	107%	102%	101%	107%	101%
更新量	新植 (ha)	361	267	146	86	96	955	323	184	77	30	38	652	112%	145%	190%	287%	253%	146%
	天然更新 (ha)	248	4	-	-	-	252	132	16	1	-	-	149	188%	25%	-	-	-	169%
	計	609	270	146	86	96	1,207	455	200	78	30	38	801	134%	135%	187%	287%	253%	151%
造林 (保育) (ha)		3,906	4,370	1,389	4,070	1,022	14,757	3,993	4,731	1,280	3,016	1,008	14,028	98%	92%	109%	135%	101%	105%
林道新設 (km)		9	12	5	12	8	47	18	22	7	13	12	72	50%	55%	71%	92%	67%	65%
治山事業 (百万円)		593	1,274 (352)	30,774 (17,355)	686	1,271 (690)	34,598 (18,397)	687	2,281 (437)	29,352 (9,607)	718	1,793 (934)	34,831 (10,978)	86%	56% (81%)	105% (181%)	96%	71% (74%)	99% (168%)

(注)

- ① 年度当初予定には、前年度の繰越事業量を含む。
- ② 更新量及び造林（保育）の事業量は、区域面積の数値である。
- ③ 更新量欄の天然更新の事業量は、天然更新を促すための地ごしらえ作業量。
- ④ 造林（保育）の事業量は、保育間伐と本数調整伐の事業量。
- ⑤ 治山事業は工事費、（ ）は民有林直轄治山事業の工事費で内書の数値である。
- ⑥ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通5丁目9-16

TEL 018-836-2014

FAX 018-889-1356

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku>



国民の森林・国有林